

さや取り道場

シエラリー株式会社【さや取り達人プロジェクト】



■まだ未来の株価を予測しますか？

これまでの株式投資の主流は、株価や企業価値の未来を「予想」するものでした。企業の財務情報を分析したり（ファンダメンタルズ分析）、過去の株価を分析したり（テクニカル分析）、国際情勢、業界情報や時に噂などを元に、総合的に未来を「予想」してきました。分析にはさまざまな流派がありますが、分析を元に「予想」をする点で共通しています。

各種指標や企業情報を研究して株価の動きを「予想」し、自分の裁量で売買判断して資産を増減させることは楽しく、一種の中毒性すらあります。短期間で資産が倍増することも夢ではありません。日々の株価の激しい動きは、いかにも一攫千金の夢を叶えてくれそうです。

しかし、こうした「予想」をともなう投資法は人間の欲と恐怖という感情に左右されやすく、一時的に勝つことはあっても、なかなか長期的な成績を上げることができないのが実情です。日常的な売買で勝っていても、理不尽な暴落の煽りで、一気に損することは少なくありません。

個人投資家の9割は損をしていると言います。それは、けっして怠け者だからではありません。彼らのほとんどは、さまざまな研究努力の末に、勝ちと負けを繰り返しながら結果的に負けているのです。またこうした投資法は、心理的な拘束も強いものです。短期の勝ち負けに一喜一憂していると、生活の中でも余裕がなくなってきました。

あなたは株価が不安でイライラしたり、仕事中に値動きが気になったり、余暇を楽しめなかったり、本来やるべきことに集中できなかったりしていませんか？ 勝ったり負けたりを繰り返しながら、総資産を元の資金（タネ）より目減りさせていませんか？

個人投資家の多くが企業やテクニカル指標を熱心に研究し、その未来を予想して売買し、市場に翻弄されたあげくに退場していきます。予想には常にギャングブル的な要素がついてまわります。

また、様々な予想法を解説した書籍が毎月何十冊も出版されていますが再現性がありません。後付けで株価を説明できる曖昧な投資理論は世の中にあふれて

いますが、そのロジックを元に継続的に売買することが可能な本当の売買ルールは少ないものです。長期間にわたってコンスタントに勝ちを重ねることは、熟練の投資家にとっても非常に難しいとされています。

ところが、「サヤ取り」という投資法では、その「非常に難しい」ことが当たり前のように出来てしまいます。株価が上がろうが下がろうが、上昇相場だろうが下落相場だろうが、まったく関係ない売買システムだからです。相場の上昇下落はマーケットの常。世界的な大暴落も、半ば予定されているようなものです。そうした現象をマーケットのメカニズムとして理解して、どんな相場でも常にコンスタントに稼ぎます。

■予測をしない投資法

「サヤ取り」の特徴は、「予測をしない投資法」だということ。予想が当たるといふ「偶然の幸運」をあてにせず、機械的売買で確実に利ザヤを稼ぐ方法です。リスクヘッジしながらしっかり利ザヤを稼ぐ投資法のため、上昇相場はもちろんのこと、下落相場や大暴落でも、同じように安定して勝ち続けることができます。

どんな相場でも安定して勝てる「サヤ取り」が「ビジネスとしての投資」たるゆえんです。その安定さゆえに「サヤ取り」は世界3大利殖法のひとつとされ、ヘッジファンドのような、ビジネスとして投資をしている機関投資家の基本戦術となっているのです。

「サヤ取り」というテクニックでは、売買判断の原理が根本的に違います。その銘柄の株価が将来上がるか下がるかかという、あやふやな未来予想をする必要は一切ありません。曖昧な「解釈」や「分析」の入り込む隙は一切ありません。玉石混交の情報にふりまわされることも、板をめぐる心理戦もありません。含み益や含み損に一喜一憂することもあります。また、過大な周辺知識もパソコンに張り付く必要ありません。ただ淡々と、決められたことをおこなうだけ。それだけで少しずつ資産が増えてゆく……。そういう投資法です。

また、「サヤ取り」は、数を重ねることで、統計的に（つまり科学的に）勝ちを重ねることが可能です。単調な売買を繰り返すことで、10回勝負して7回勝

つような売買を、どんな相場でも重ねることができるわけです。「上昇相場」も「下降相場」も関係ありません。どんな相場でも同じように勝てるテクニックです。「一攫千金」にも縁が薄いですが、同時に「大損」にも縁がありません。マーケットではある局面で大きく勝っても、数を重ねれば負け越すということが圧倒的に多いものです。長期にわたり数を重ねて勝つというのは、極めて特異的な投資法です。

■複利の効果

「サヤ取り」という投資法は、機械的売買によって利益を少しずつコンスタントに積み上げてゆく投資法です。一回の利ザヤはわずかでも「コンスタントに勝ち続ける」ことができれば、長期的に運用した時に莫大な利益を得ることになります。いわゆる、「時間を味方につける」というヤツです。

例えば、コンスタントに1か月で3%の利益をだすことができるとすると、複利運用8年で資本を10倍にすることができます。これを15年続ければ、合計はおよそ元金の100倍になります。元金が300万円で始めて15年程度で3億円まで膨れ上がります。

最終的に大きく稼ぐには、幸運（ラッキー）を期待してはダメです。その時どきの流行の投資法もダメです。相場が変わったら役に立ちません。おそらくこの先の15年間には、幾度も「好景気」と「不景気」が繰り返され、何度か「暴落」もあるでしょう。分析法や投資基準も、その都度激しく入れ替わるでしょう。リスクヘッジをせずに投資を続けていたなら、ほとんどの投資家は15年を待たずにマーケットから退場することになるでしょう。

どんな相場でも勝つ「必勝法」でなければ、こんな利殖はできません。「サヤ取り」は、まさにそういうタイプの投資法です。景気の良し悪しに関係なく、安定して利益が出せる方法です。

「サヤ取り」は、かつてロスチャイルドや山崎種二（山種証券創始者）が巨富を築き、今も多くの「投資のプロ」（ヘッジファンドのマネージャーたち）によって巨額な資金で運用されている基本テクニックです。「最終的には、負けない投資が大きく勝つ」ということをよく知っている、プロ中のプロたちに愛用さ

れてきた投資法、それが「サヤ取り」です。

■市場は効率的

「市場は効率的である」という良く知られた原理があります。たとえ一時的に割安な銘柄や割高な銘柄があっても、いつまでも是正されずに放置されることはなく、すぐに適切な株価になるまで売買されます。割安だと多くの投資家が判断すれば、割安でなくなるまでその株が買われるわけです。

ここで注意すべき点は、株価が割安か否かという感覚は、絶対的な価格によるものではなく、ほかの銘柄との比較による「相対的なもの」だということです。全ての銘柄が上昇する局面でその銘柄だけが変化しなければ、たとえ業績が据え置きでも、割安銘柄と認識されるでしょう。

市場をめぐるマクロな経済状況による影響は、同一業種の似た業態の企業なら、おおむね同じような傾向を示します。円安で儲かる業種は、為替レートが円安に傾けば一律で増益となるでしょう。同じく原料の価格変動や、国際情勢、消費者動向、金利政策などによる影響も、おおよそ似た傾向を示すでしょう。実際の企業の業績も、連動しやすいわけです。実際多くの銘柄の株価が連動します。

もちろん完全な連動などはありませんから、多少なりともブレます。一時的に割安になったり割高になったりするわけです。このブレを是正する動きを利用して稼ごうというのが「サヤ取り」という投資法の基本原理です。一時的に生じる相対的な割安・割高を狙って、その是正值幅を取るわけです。

■サヤ取り手法

ここで簡単に「サヤ取り」のやり方を説明しておきましょう。サヤ取りは、株価の動きがよく似た2銘柄の一時的な価格差（サヤ）を利用して「買い」と「売り」を同時に仕掛け、利益を追求していく両張り投資です。両張りをすることで、たとえば全体の相場が下がったときでも、「買い」で持っている銘柄で損失を出していても、「空売り」で持っている銘柄がそれ以上に下がれば、「買い」

の下落リスクを最小限にしながら、「空売り」の利益を手にする事ができるのです。

株価チャートを金額ベースで比較してみると、長期にわたり非常によく似た値動きをする相関性の高い銘柄がいくつかあります。さや取りを行う場合、この相関の高いペアを選ぶことが、非常に重要になってきます。

しかし、似たような値動きをしていますが、常に同じ比率で動いているわけではありません。一時的に割安になったり、割高になったりして2つの銘柄の価格差（さや）が大きくなったり小さくなったりを繰り返しています。

そこで、2銘柄の間のさやが広がった時に、割安な株を買い、割高な株を空売りします。これを仕掛けと言います。さやが元の水準に戻った時に、同時に反対売買をして決済します。これを手仕舞いと言います。さやが縮小した分が利益になります。

■さや取りの利益

「さや取り」は、値動きを「予想」する投資法ではありません。株価が上がるか下がるかには、全く頓着せずに、2つの銘柄の株価の差（さや）のみに着目します。市場でどんなイベントがあっても気にしません。株価が下がっていても問題ありません。重要なのは、2銘柄間の差額（さや）の動きだからです。あくまで『市場は効率的である』というマーケットの原理に則って、機械的に売買する投資法なのです。

どの銘柄が人気化するかは、どんなに理屈をこねまわしても、結局のところ（あいまいな）「予想」です。思惑が外れることも多いでしょう。良い材料が出て、いわゆる「材料出尽くし」で、株価は下がることが多いものです。良い材料が出れば必ず株価が上がるという法則があれば、だれも損はしません。

一方「さや取り」では、株価を動かす「材料」そのものにもまったく無関心です。一定以上の割安・割高が生じたら（さやが開いたら）、それを是正するように仕掛けるだけです。さやの開閉は単純な数学的な問題ですから、コンピュータが計算して、完全に判別することが可能な事柄です。極めて単純な投資法で

すが、この方法が有効でかつ安全性が高いことは、数多くの億万長者を生み、今も多くの機関投資家たちの手で運用されていることから分かります。海外では個人投資家の多くが「サヤ取り」を取り入れています。

サヤ取りによる利益は、株価連動のブレ、つまり仕掛け時と手仕舞い時のサヤの差です。

損益＝仕掛け時のサヤ(価格差)－手仕舞い時のサヤ(価格差)

「サヤ取り」での損益は、株価の上下ではなく 2 銘柄のサヤ(価格差)のブレ(＝サヤの差)なわけです。

もちろん何も考えずに仕掛ければ、サヤ(価格差)がこの後広がるか縮まるか「運まかせ」です。運まかせでは、資産形成はおぼつきません。「サヤ取り」では、仕掛ける前に銘柄ペアの値動き分析して、これからサヤが縮まるのか広がるのか見極めることが重要なわけです。

つまり「サヤ取り」では、仕掛けの段階で「どう手仕舞うか(手仕舞いのタイミング)」も決まっています。購入後の値動きを見ながらいつ売ろうかと考える通常の売買(片張り)とは、理論的にも心理的にも全く異なる投資法です。

■さや取り達人の概要

『さや取り達人』は、選んだペア銘柄のサヤの変化を自動的に分析して、この後、サヤが開こうとしているのか閉じようとしているのか瞬時に判断できるソフトです。しかも、どちらの銘柄が「売り」で、どちらが「買い」なのか、頭を悩ます必要もありません。ユーザーはなんら予想したり分析したりすることなく、仕掛けと手仕舞いのタイミングを知ることができます。

これまで強調してきたように、サヤの開閉は数学的に算出されてしまう事柄です。『さや取り達人』は必要な計算をして、明瞭なカタチで銘柄ペアの情報を表示します。「サヤ取り」という投資法では面倒な計算をソフトがやっつけてしまえば、投資家はまったく自分で予想したり判断する必要がありません。投資家の仕事といえば、サヤチャートを確認するだけです。つまり、プロ御用達の投資必勝法ともいえる「サヤ取り」を、初心者でも利用できるようにしたのが『さや取り達人』なわけです。

『さや取り達人』は、「サヤ取り」に特化したソフトなので、とにかく操作が直感的でシンプルです。効率よく仕掛けと手仕舞いのタイミングを把握できるように設計されています。ペア銘柄を選ぶだけで、現在のサヤの状態がすぐ分かるしくみになっています。

まず、『銘柄ペアリスト』でペア銘柄を選択すると、自動的に銘柄ごとの株価とサヤのチャートが描画され、両銘柄の相関係数が算出されます。相関係数は、2つの銘柄の値動きがどれくらい連動しているかをあらわしています。ペア選びの重要な手がかりになります。また、サヤチャートに自動的に描画されるサヤ平均線は、「手仕舞いする予定額」です。つまり、現在のサヤとサヤ平均線の差が予定利益となります。仕掛ける時点で、手仕舞い時の利益が分かるわけです。

さらに「仕掛け情報」と「手仕舞い情報」で詳細をみることができ、サヤチャートでは、サヤ移動平均線とボリンジャーバンドを表示することができます。サヤをテクニカル分析することで、トレンドの変化を定量的・定性的に把握することができます。

また、登録した銘柄ペアを対象に、売買シミュレーション(仮想売買)をすることができます。シミュレーションの結果は、仮想売買における勝率と損益が計算され、売買のタイミングが各ペアのチャート上に表示されます。仕掛け・手仕舞いの条件を変えてシミュレーションすることで、収益率の高い、最適な売買条件を見つけることができます。

サヤの状態は「リアルタイム株価」で常に監視することができますので、最適なタイミングで仕掛け、手仕舞いすることができます。株価データは自動的に更新されるため、ユーザーはデータの更新状態をまったく気にする必要がありません（データを取り込むボタン操作などが一切ありません）。起動と同時に、最新の株価情報になっています。これは、東証の株価データを専用回線によってリアルタイムに取得し、専用サーバー上で瞬時にデータベース化しソフトに反映させているからです。

サヤ取り投資はローリスクで優れた投資方法ですが、個人投資家にはなじみがなく、実際に始めようとしても手作業で行うのは、大変な労力が必要でほぼ不可能です。そこで、コンピュータソフトウェアを開発している弊社は『さや取り達人』に、長年培ってきた技術を惜しみなく注ぎ込み、「投資家にとって分か

りやすい操作性」にこだわって制作しました。個人投資の裾野が広がっているなかで、だれでもわかるような設計こそが必要だと考えています。『さや取り達人』は、そのひとつの答えです。

実は元々、自分年金作りと会社の福利厚生に作ったソフトで、販売の予定はなかったのですが、周囲の応援もありリリースして4年になり、今では機関投資家の方にもご利用頂いております。

最初にソフトを起動すると、メニューボタンが少ないことに驚かれるにちがいありません。データの更新やサヤチャートの表示も、可能な限り自動化されています。売買シミュレーションなどの高度な機能も盛り込まれていますが、操作方法は直感的で、初めての方でも簡単にマスターできます。

「サヤ取り」に必要な十分な機能を厳選し、高度で面倒なことを、簡単にサラリとやってみせる。そんなソフトを目指して作成しました。すでに「サヤ取り」をやられている方から、これから株式投資を始めようという方まで、幅広い投資家の皆様にご満足いただけるソフトだと自負しています。

■ローリスクな投資

「サヤ取り」という投資法は、サヤチャートを参考に単調な売買を繰り返すだけで、勝ちを積み重ねることができる投資法です。投資に、「一攫千金の夢」や「スリル」を求めるのではなく、「安全確実に」「資産を増やす」という安定した資産運用を求める投資家向けの投資法です。

こんな人に「サヤ取り」はオススメです。

- ・株価が気になって、日中仕事に手が付かない（⇒仕事や育児に専念したい）
- ・ギャンブルみたいに、売買のたびにいちいちドキドキするのがイヤ
- ・勝ったり負けたり取引きで、一喜一憂したくない
- ・テクニカル分析したり、企業情報を集めたりするのが面倒
- ・テクニカル分析の解釈は、結局後付けの理論のような気がする
- ・コツコツ稼いでいても、たった1回の暴落で一気に利益が消えてしまう
- ・長期投資で、最終的に大きな資産を作りたい

- ・投資するからには、損をしたくない
- ・他人と同じ方法や情報に従って売買しても、勝てないと思う

買いだけの片張り投資を続けていたら、いずれ限界がやってきます。急激な市況変化や下落相場になっても対応できる投資法の実践と技術の習得がなければ、どれだけ情報収集・分析に時間とお金をかけて努力したとしても報われません。相場（株価）というものは、自分の思惑とは違った動きをするものだということを念頭に置き、市場に翻弄されない投資法を身につけなければなりません。

「サヤ取り」という裁定取引に辿り着いた方は、おそらく、片張りのリスクを十分に理解している人達ではないでしょうか。「サヤ取り」を行なうことで、株式のギャンブル的な投資から抜け出せることができます。ギャンブルには、再現性がありません。今回勝てたとしても、次回は全くわかりません。投資スタンスには千差万別ありますが、リターンの追求もさることながら、リスク管理にウエイトを置くことが大切だと思います。

数万円の利益を軽視する人はサヤ取りには興味を示さないでしょう。しかし相場を読むのではなく、上下どちらに動いても収益獲得の機会があることに優位性を感じる方、メンタル管理から解放されたい方は興味を持たれたと思います。

将来の値動きを予測することがいかに難しいことか・・・はっきり言って誰にもわかりません。相場に影響を受けない、リスクヘッジが効いたサヤ取りは大変有効な手段だと思います。

“再現性”と“平常心”で運用できるローリスクなサヤ取りを、分散投資の1つとしてご利用頂くことで、皆様の貴重な時間を有効活用し、経済的にも精神的にもさらに豊かな人生を築いて頂くための一助になれば幸いです。

※無断転載はご遠慮ください。

シェバリー株式会社 【さや取り達人プロジェクト】



CHIVALRY